



▲神鍋民謡保存会と地区の子どもたちが「そうだろ節」を披露。地域の伝統が引き継がれている(西気ふれあいの集い2014)

住民みんなで 地域を守る

西気は神鍋高原にある地区です。スキーをはじめアウトドラスポーツなど、四季を通じて多くの観光客が訪れます。

新しい地域コミュニティのモデル地区の取組みが始まっています。地区の取組みを紹介しましょう。

しかし、地区の人口は急激に減少。特に子どもの数が減っています。平成25年度からは清滝小学校との統合で、西気小学校がなくなりました。ガソリンスタンドもなくなり、路線バスも撤退の危機がありました。

地域から、さまざまなものがなくなり「このままでは地域が駄目になる」と、住民が立ち上がりました。

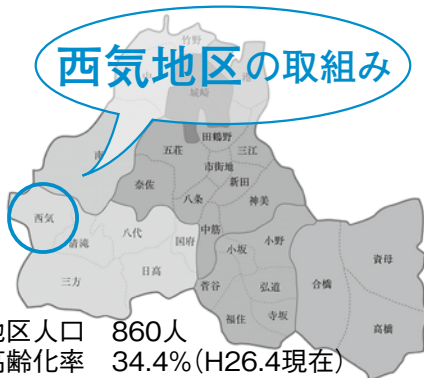
社会実験

2000円バスの取組み

バス路線を守るためには、利用者を増やし、一定の収益を上げることが不可欠です。「乗らないから減便、不便だから乗らない」の悪循環ではなく、どうしたら路線を守れるのか…。

住民と全但バス、市の3者がそれぞれの責任を果たし、公共交通を守っていく社会実験として「2000円バス」に取り組みました。

西気地区の取組み



沿線住民の努力はもろろんですが、西気でも地域の催しとセットで積極的な利用促進を展開し、今後の運行につながる結果を残しました。



▲乗車人数が大幅に増加。みんなで公共交通を守った

地域の思いを描く

(活性)

西気がつせえ化計画

昨年は、県の事業にも積極

的に取り組み「西気がつせえ化計画」を作りました。

住民自らが地区内を歩き、西気の魅力や課題を共通認識し、西気の将来について語り合いました。

西気で暮らす幸せを増やす。そして、帰りたくなる西気を目指します。

すぐにできること、少し先ならできそうなこと、いつかはやりたいことなど、取組みに順序を付けています。

「がつせえ」とは「すごい」という意味の方言です。住民みんなで取り組んでいきます。



▲リーフレットで見やすくまとめました

いよいよ設立

西気明日のいしずえ会

今年、新しい地域コミュニティの推進として、モデル地区に取り組み、7月に組織を設立しました。

名前は「西気明日のいしずえ会」。旧西気小学校の石碑にある言葉を選びました。新

知恵を出し合い楽しい西気に

西気には住民の団結力があります。新しいコミュニティ組織では、住民同士のコミュニケーションをしっかりと取って、地域づくりをみんなで盛り上げていきたいと考えています。困難なことはたくさんありますが、知恵を出し合って楽しくできるような心掛けたいと思います。いずれ、防災や福祉の面にも取り組み、安心できる地域、帰ってきたいと思える地域を目指し、この西気をみんなで守っていきます。



西気明日のいしずえ会
会長 田原宏二さん
(50歳)

しい西気をつくる礎となる組織としたいとの思いが込められています。

四つの部会と一つの委員会から成り、地区内の団体や住民が協力し合って組織運営や活動を展開していきます。これにより、地域づくりの推進母体が整いました。



▲次代の地域を担うのは子どもたち。その子どもたちを育てるのは地域。新たな取り組みとして「英語で遊ぼう♪」がスタート

動き出した 地域づくり

高橋は市の東部に位置し、京都府に接する地区です。高橋振興対策協議会(昭和53年設立)が地域の運営を担ってきましたが、人口減少

29の地区公民館が平成29年度からコミュニティセンターになります。地域の皆さんが頑張る分、地域づくりが進みます。

や高齢化が進み、また社会状況が変化する中で地域の力が弱まってきました。

近年、県の事業支援や市の過疎地域戦略プロジェクトによる地域づくりに取り組んでいます。

今年4月からは新しい地域コミュニティのモデル地区にもなっています。

平成21年度 地域の将来計画を策定

平成21年度に、県の事業を活用し、地域の将来計画を策定しました。

ワークシヨップを重ね、地域の将来について、みんなで検討しました。

10年後も住みよい地域であるために、何を地域で取り組んでいくかを考えました。

現在、地域の目玉のプロジェクトに位置付けている「高橋ふれあい市」は、この計画から生まれたもので、地域の催しとして定着しています。

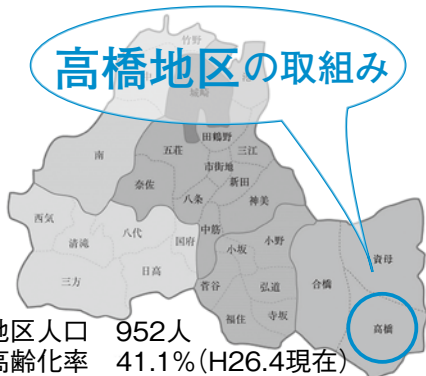


▲地域の収入にもなっている(高橋ふれあい市)

行動できる組織に 高橋振興対策協議会

計画の次は、組織の建て直しです。マンネリ化したり、住民の負担感が先に立ってしまい、組織の硬直化を招いていました。

過疎地域戦略プロジェクトの取組みを契機に、地域の危



地区人口 952人
高齢化率 41.1%(H26.4現在)

機感をみんなで共有し、地域と行政に、アドバイザーも加わり、3者の連携により、新生「高橋振興対策協議会」が誕生しました。

新たな活動へ 「英語で遊ぼう♪」

高橋地区では、ふるさと探訪や校区大運動会などを行っています。さらなる展開もありません。

子どもが少ない、地域に元気がないと不満を言うだけでなく、高橋だからできること、人口が少ないからできることをやろうという動きです。

「英語で遊ぼう♪」は、遊びや生活の中から楽しく英会話を学ぶものです。地域の中、高校生が小学生や幼児に教えたり、大人も参加したりと世代間交流の場ができました。

将来を見つめ、自分たちの手で地域をつくっていきます。



▲参加者を出迎える

地域 コミュニティ 地区(公民館単位)の取組み

《問合せ》コミュニティ政策課 ☎21-9020

地域…ここでは「広がりを持った、ひとまとまりの土地」のことをいいます。

英語を通してふれあいの輪

高橋地区は活動が盛んで楽しい地域です。「英語で遊ぼう♪」もその一つです。小さな子どもたちにカルタの絵を英語で教えたりして、ふれあいの輪が広がっています。

地域の人たちが楽しくすることで、多くの若い人にこの地域に来てもらえると思います。高橋地区は、自分が生まれた所なので好きです。地域のために、できることをしたいです。



英語で遊ぼう♪
スタッフ
岸本健吾さん
(15歳)